博物館 Museum
☎68-1881

企画展 三河地震と戦争と

昭和20年1月13日午前3時38分、三河湾一帯を直下型地震が襲いました。暗く寒い冬の朝に何が起きていたのか、貴重な体験談を中心に、三河地震と戦時下の人々の様子を紹介します。

とき 1月10日(土)～2月23日(祝)　**ところ** 1階特別展示室

関連イベント

【講座】
1月17日(土)　午後1時30分～2時30分
「三河地震と南海トラフ－地震に対する備え－」
名古屋地方気象台地震津波火山防災情報調整官
大西星司

【ギャラリートーク】
2月1日(日)　午後1時30分～2時30分
学芸員による展示解説

【地震体験】
1月31日(土)　午前10時～午後3時
地震体験車「なまず号」による地震体験

【三河地震紙しばい劇場】
1月18日(日)　午後1時30分～2時15分
「隠された地震 三河地震の記憶」
形原五七巳午会紙芝居同好会
1月25日(日)　午前11時～11時30分
「じしんはおそげえ」
金沢ヒューマン文庫を愛し守る会

むかしのあそび体験コーナー

福笑い・すごろく・めんこ・こま・けん玉・野球盤ゲームなど昔なつかしいおもちゃを楽しむコーナーです。親子で遊びにきてください。

とき 1月6日(火)～25日(日)
ところ 1階エントランスホール

竹島水族館 Aquarium
☎68-2059

館長のひとりごと

小林龍二

館長になって10年が経ちました。30人弱の竹島水族館の歴代の館長の中で最長の人になりました。

館長になる時、みんなに「あの水族館で館長はやめなさい！」と言われました。それほど様々な意味で危険が渦巻く館でした。その中で2人だけ賛成する人がいて、1人は「オマエが館長になってあの水族館にトドメを刺して終わらせろ！」というもはや先がないご意見。もう一人は現副館長の戸舘(とだて)真人君で「オレが副館長をやるから一緒にやってみようよ」という未来に希望を持った意見。つまり前向きな言葉は戸舘以外になかったのです。

副館長とは同い年で、彼は有名大学の大学院卒で魚博士のエリート。一方私は…自粛。もし同じクラスにいたら人種が違うので友達にはなっていなかっただろうと思います。彼は大酒飲みで私は下戸なので、仕事終わりに一緒にお酒を飲むということは年に1、2回しかなく、仕事が終わればほとんど別行動。仕事上ではいつも私の突拍子もない思い付きや提案を戸舘が現実化、実現化に向けて調整しスタッフに指令を出すという役割分担。私がスタッフに雷を落とすとそのフォローをするお母さん的存在。互いの持ち味を出し合い突進できるのでかなり仲が良く、陰で支えてくれる彼のおかげで不安を解消させて10年やってこられました。仕事をするうえでパートナーの大切さを感じます。

竹島水族館は今年なんと創立70周年、この連載も20年目に入ります。もう辞めろといわれるまで頑張ります。

未来に向けて気合いバッチリの戸舘副館長